

2022年2月10日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 木村 睦  
 (コード番号 2531 東証 第一部)  
 問 合 せ 先 財務・IR 部長 宇佐美 昌和  
 T E L ( 0 7 5 ) 2 4 1 - 5 1 2 4

2022年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月9日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想ならびに配当予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)2022年3月期 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年11月9日発表)	289,000	33,400	33,800	16,100	81円43銭
今回修正予想 (B)	298,000	40,400	41,000	19,600	99円14銭
増 減 額 (B-A)	9,000	7,000	7,200	3,500	-
増 減 率 (%)	3.1	21.0	21.3	21.7	-
ご参考:前期実績 (2021年3月期)	278,443	21,595	21,929	10,574	53円48銭

## (2)修正の理由

通期の売上高につきましては、前回予想(2021年11月9日発表)に対して、宝酒造がほぼ予想通りとなり、宝酒造インターナショナルグループでは料飲店市場が好調に推移し、タカラバイオグループでは新型コロナウイルスPCR検査関連製品および一般研究用試薬が前回予想を上回ること、グループ全体でも増収となり、過去最高となる見通しです。

利益面では、売上高の増加や売上原価率の低下による売上総利益の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回り、過去最高となる見通しです。

また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期第3四半期決算短信補足資料」(PAGE 12/20～15/20)をご参照ください。

## 2. 配当予想の修正について

### (1)修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年11月9日)		29円00銭	29円00銭
今回修正予想		35円00銭	35円00銭
当期実績 (2022年3月期)			
前期実績 (2021年3月期)		21円00銭	21円00銭

### (2)修正の理由

当社の株主還元方針は、持続的な利益成長に合わせて、配当性向で30%台後半となる安定的な配当を継続することとしており、今回の業績予想の上方修正を踏まえ、2022年3月期の配当予想を2021年11月9日に公表した1株当たり29円から35円に修正いたします。

また、本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証第一部)も、2022年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正発表をおこなっております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、これらの数値とは異なる可能性があります。

以上

### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。